

# 「買いサインを簡単につくる」

JP法研究会 富士栄

J P分析日足シート 401 から 419 番には、あらかじめ日経平均の買いサインがセットされています。

最近の逆張りの絶好の買い場は、後から見れば分かる通り、15000 円割れの 8/8 でした。

しかし、上記のシート群では、残念ながら買いサインは点灯しませんでした。

このまま放置しておくと、また同じようなパターンとなった場合、買いサインが点灯しません。

そこで今回は、8/8 に当てはまる買いサインを作ってみたいと思います。

買いサインを作る？難しいそう・・・と身構える必要はありません。

J P分析には、簡単に売買サインをつくる事が出来る機能が備わっていますから。。。

この機能を使ってみましょう。

8/8 点灯しなかった

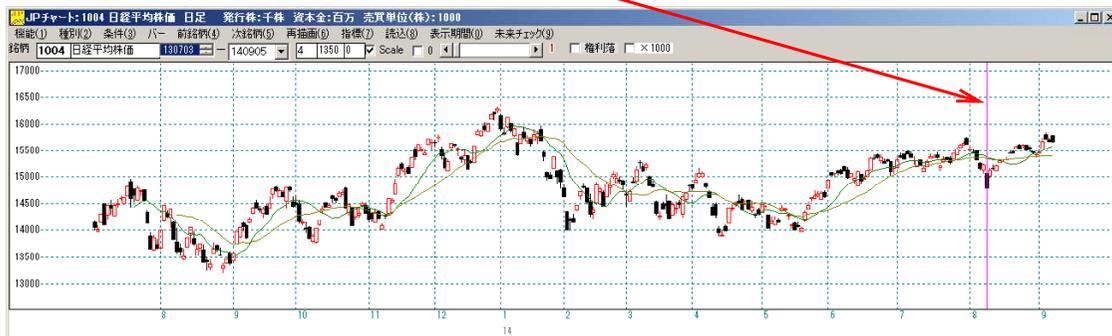


## ■売買条件作成機能を使う

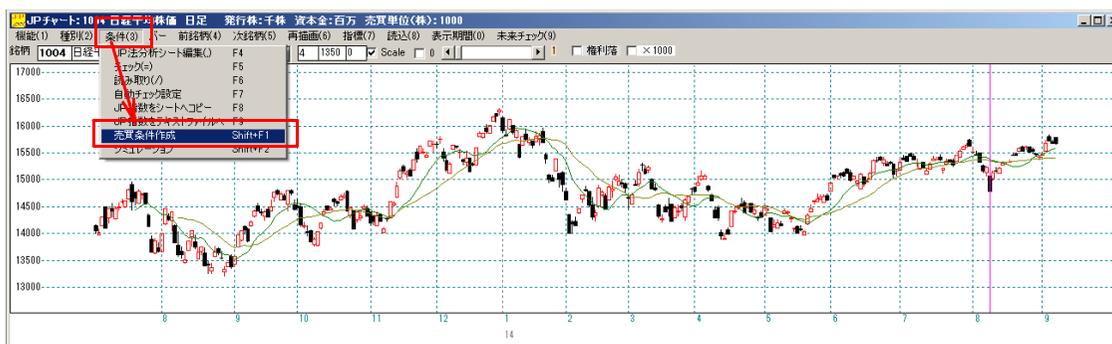
### 手順

買いサインを表示させたい日に縦バーを表示させます。

今回は 8/8 に縦バーを表示させます。



「条件」－「売買条件作成」をクリックします。



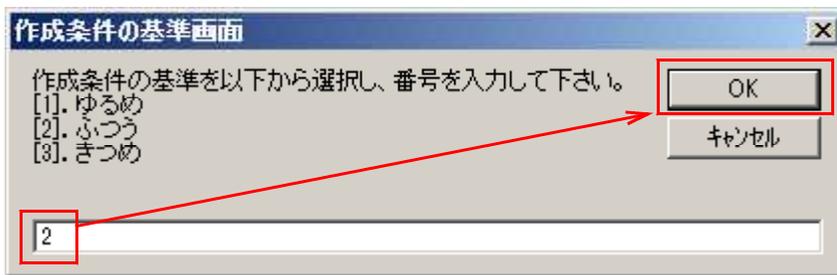
シート番号をたずねてきます。今回は 900 番としました。

「900」と入力し「OK」をクリックします。

続けて下記の画面となります。

買い条件なので「はい」をクリックします。

ゆるい条件か？ふつうの条件か？きつめの条件か？をたずねてきますので、「2」のふつうを選択します。



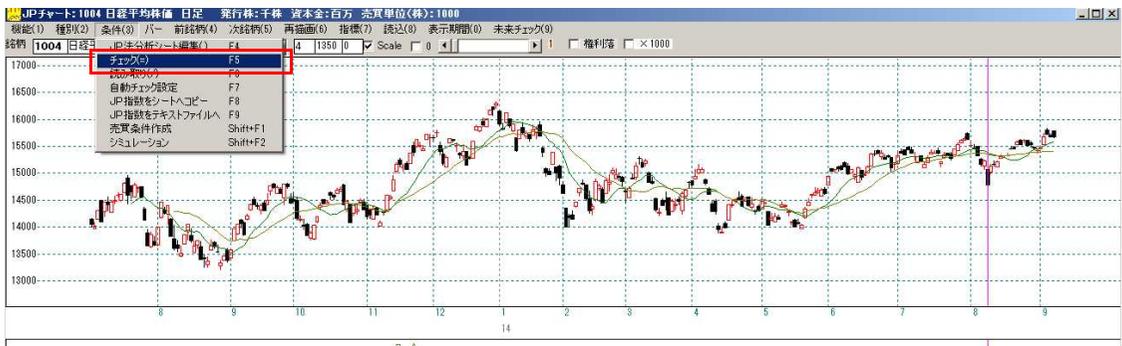
ここまでの手順で 900 番に買い条件が作成されました。



作った 900 番シートを表示させてみましょう。

### ■買いサインを表示させる

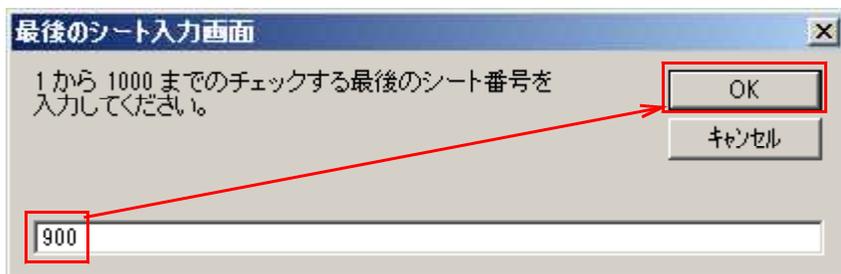
「条件」－「チェック」をクリックします。



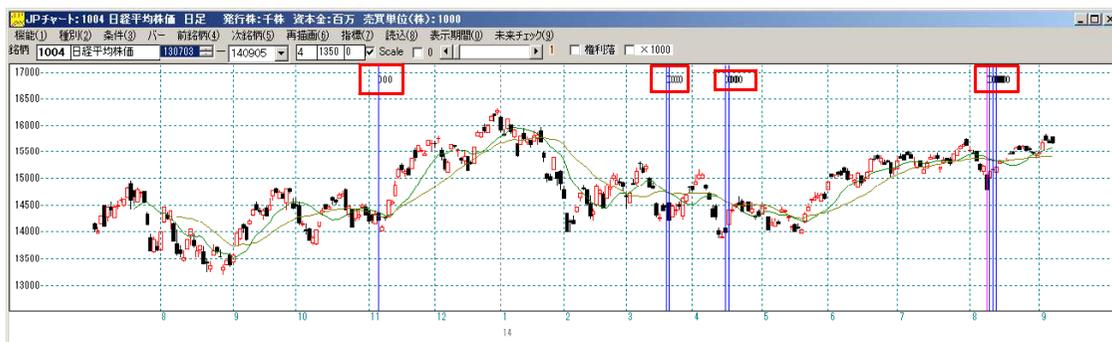
チェックする最初のシート番号をたずねてきます。「900」と入力し「OK」です。



続けて最後のシート番号をたずねてきます。同じ「900」と入力し「OK」です。  
※ 900 番のみなので、同じ番号となります。

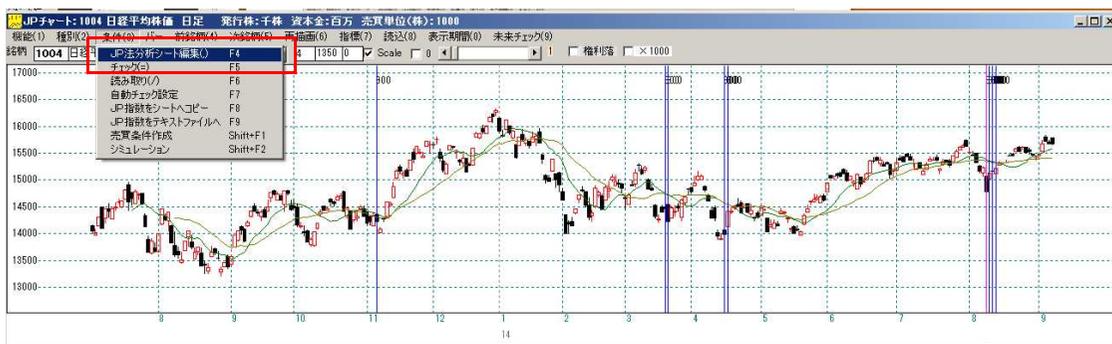


下記のように表示されます。



8/8 は当然表示されますが、他の日付にも点灯されています。  
なかなか良さそうなポイントに表示されていますね。

どんなシートが出来たのか見てみましょう。  
「条件」－「JP法分析シート編集」をクリックします。



「900」と入力し「OK」をクリックします。



900番シートの内容が表示されました。

JP法分析シート 日足用 900番										
コメント 買い条件:1004日経平均株価 2014/08/08										
短期弾性値	以上		出来高倍率	以下		最高値・最安値	周期		出来高水準	周期
短期弾性値	以下	0	最大出来高	周期		最高値・最安値	以上		出来高水準	以上
中期弾性値	以上		最大出来高か?			最高値・最安値	以下		短中M開カイリ	以上
中期弾性値	以下	0	短弾	向き	3	最安値・最高値	周期		MACD①(4-20)	向き
長期弾性値	以上		中弾	向き	3	最安値・最高値	以上		MACD②(5-20)	向き
長期弾性値	以下	1	長弾	向き	3	最安値・最高値	以下		短M/中M	位置
MAV指標	以上		MAV	向き		最高値	周期		生中弾/中弾	位置
MAV指標	以下		短期M	向き	3	最高値/安値	以上		生長弾/長弾	位置
短期M指標	以上		中期M	向き	3	最高値/安値	以下		株価水準	以上
短期M指標	以下	0	生短弾	向き		最安値	周期		株価水準	以下
中期M指標	以上		生中弾	向き		最安値/高値	以上			
中期M指標	以下	1	生長弾	向き		最安値/高値	以下			
生短弾性値	以上		短コスト	向き	3	長コスト/前日安値	以上			
生短弾性値	以下		長コスト	向き	3	長コスト/前日安値	以下			
生中弾性値	以上		短/長コスト	位置	4	長コスト/前日高値	以上			
生中弾性値	以下		短コスト上・下抜け			長コスト/前日高値	以下			
生長弾性値	以上		長コスト上・下抜け			生短弾/短弾	位置			
生長弾性値	以下		短長DC後日柄	以上		終値/高値	以上			
最安値	周期		短長DC後日柄	以下		終値/高値	以下			
最安値比率	以上		短長GC後日柄	以上		終値/安値	以上			
最安値比率	以下		短長GC後日柄	以下		終値/安値	以下			
最安値日柄	以上		短弾/中弾	位置		新値	周期			
最安値日柄	以下		中弾/長弾	位置		安値更新本数	以上			
最高値	周期		短弾/長弾	位置		安値更新本数	以下			
最高値比率	以上		陽線・陰線?			高値更新本数	以上			
最高値比率	以下		高値切り上・下がり			高値更新本数	以下			
最高値日柄	以上		安値切り上・下がり			足取り・5本設定				
最高値日柄	以下		RJ指数	以上		ハイ・ローバンド	周期			
出来高倍率	周期		RJ指数	以下		ハイ・ローバンド	向き			
出来高倍率	以上		RJ指数	向き		短中M開カイリ	以下			

このシートを少しアレンジします。

陽線・陰線?の項目に「3」と入力します。

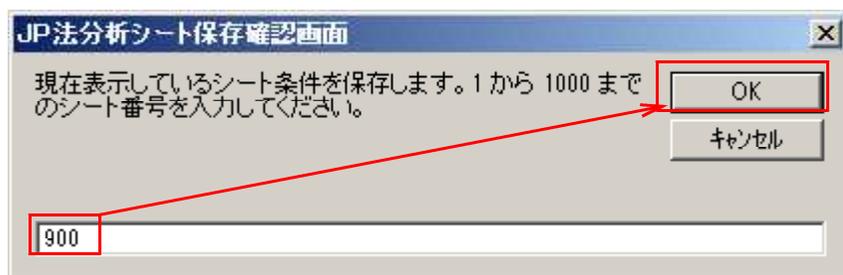
※3は、陰線という意味です。

JP法分析シート 日足用 900番										
コメント 買い条件:1004日経平均株価 2014/08/08										
短期弾性値	以上		出来高倍率	以下		最高値・最安値	周期		出来高水準	周期
短期弾性値	以下	0	最大出来高	周期		最高値・最安値	以上		出来高水準	以上
中期弾性値	以上		最大出来高か?			最高値・最安値	以下		短中M開カイリ	以上
中期弾性値	以下	0	短弾	向き	3	最安値・最高値	周期		MACD①(4-20)	向き
長期弾性値	以上		中弾	向き	3	最安値・最高値	以上		MACD②(5-20)	向き
長期弾性値	以下	1	長弾	向き	3	最安値・最高値	以下		短M/中M	位置
MAV指標	以上		MAV	向き		最高値	周期		生中弾/中弾	位置
MAV指標	以下		短期M	向き	3	最高値/安値	以上		生長弾/長弾	位置
短期M指標	以上		中期M	向き	3	最高値/安値	以下		株価水準	以上
短期M指標	以下	0	生短弾	向き		最安値	周期		株価水準	以下
中期M指標	以上		生中弾	向き		最安値/高値	以上			
中期M指標	以下	1	生長弾	向き		最安値/高値	以下			
生短弾性値	以上		短コスト	向き	3	長コスト/前日安値	以上			
生短弾性値	以下		長コスト	向き	3	長コスト/前日安値	以下			
生中弾性値	以上		短/長コスト	位置	4	長コスト/前日高値	以上			
生中弾性値	以下		短コスト上・下抜け			長コスト/前日高値	以下			
生長弾性値	以上		長コスト上・下抜け			生短弾/短弾	位置			
生長弾性値	以下		短長DC後日柄	以上		終値/高値	以上			
最安値	周期		短長DC後日柄	以下		終値/高値	以下			
最安値比率	以上		短長GC後日柄	以上		終値/安値	以上			
最安値比率	以下		短長GC後日柄	以下		終値/安値	以下			
最安値日柄	以上		短弾/中弾	位置		新値	周期			
最安値日柄	以下		中弾/長弾	位置		安値更新本数	以上			
最高値	周期		短弾/長弾	位置		安値更新本数	以下			
最高値比率	以上		陽線・陰線?	3		高値更新本数	以上			
最高値比率	以下		高値切り上・下がり			高値更新本数	以下			
最高値日柄	以上		安値切り上・下がり			足取り・5本設定				
最高値日柄	以下		RJ指数	以上		ハイ・ローバンド	周期			
出来高倍率	周期		RJ指数	以下		ハイ・ローバンド	向き			
出来高倍率	以上		RJ指数	向き		短中M開カイリ	以下			

入力出来たら、保存しましょう。「保存」をクリックします。

「900」と入力されている事を確認して「OK」をクリックします。

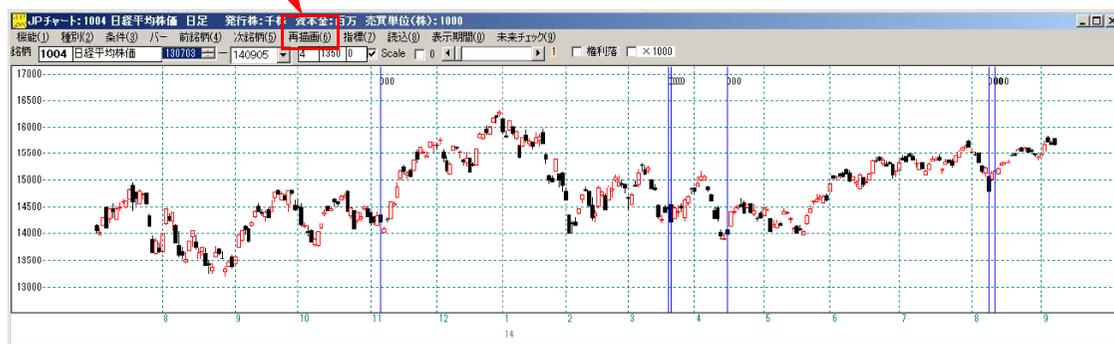
※数字が入っていなかったら「900」と入力してください。



ここまでの手順で、シート内容が保存されました。

再び、900番をチェックしてみましょう。

一度、「再描画」をクリックし先のサインを消してから、チェックです。



陰線のみとしましたので、少しサインが減りました。

これで、将来8/8と似たようなパターンが到来した場合、900番をチェックすれば点灯する事でしょう。

このように、いくつもの買いパターンを保存していく事によって、JP法は進化します。

中には、最適化だ、後手後手だ、と言われる向きもおられる事と思いますが、将来は、誰も分からない。という考えがJP法です。

そのため、サインが点灯しなかったら、追加で作っていく。

これから先、毎回毎回、違うパターンで上昇していくとは、思えません。

類似パターンで上昇してく事もあるでしょう。サイン作成は、そのときの備えでもあります。

過去に当てはまらないパターンが来たら、新たに作成し、将来へ備えるという事です。

## ■さらに過去へさかのぼる

長期データを保有する「JP2000」ソフトで、作成した「900」番シートを調べてみましょう。

2007年から調べることが出来ます。



JP法の300日の期間では、そこそこ良いところに点灯していましたが、さらに過去を調べると、都合の悪いポイントもチラホラと出てきます。

これは、ある意味仕方のないことです。

むしろ、たったあれだけの操作で、ピタピタ当たるシートが出来たら、それはそれで大変なことから・・・。

上記のチャートのサインポイントを眺めて、2008年前半と2009年後半に点灯しているサインは、そこから大きく下落していますので、まずいパターンとなりますが、期間全体のトータルサインとしては、まずまずではないでしょうか？

ここで妥協してもよし、さらにシートに手を加え、完璧にとらえるように作り替えてもいいでしょう。

例えば、このように入力項目を追加したりしてです。

## ■シートをきつくする

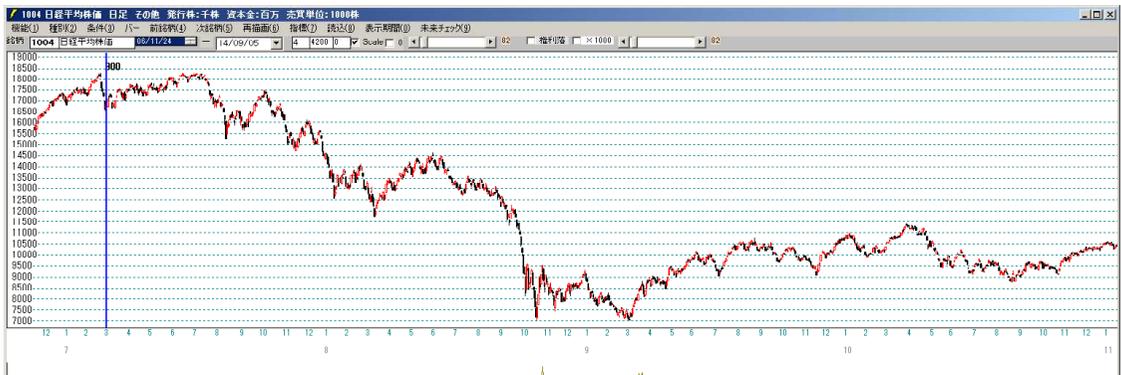
入力項目を追加してみます。

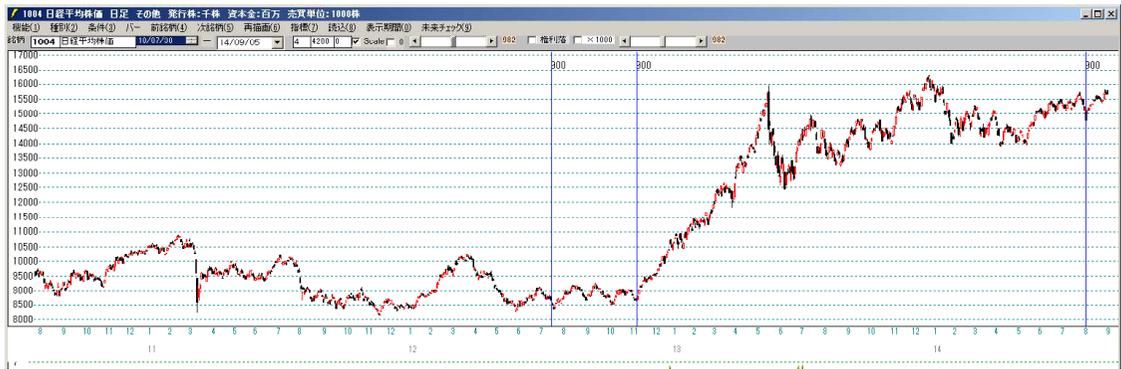
短弾／長弾位置 「5」  
 R J 指数 以下 「20」  
 R J 指数 向き 「3」

JP法分析シート 日足用 900番									
コメント 買い条件:1004日経平均株価 2014/08/08									
短期弾性値 以上	短弾	向き	3	最高値 向き		出来高比率 以下		JPシート合格個数 以上	
短期弾性値 以下	0	中弾	向き	3	最高値/安値 以上	当日終値 以上			
中期弾性値 以上		長弾	向き	3	最高値/安値 以下	当日終値 以下			
中期弾性値 以下	0	MAV	向き		最安値 向き	何日前の条件とするか			
長期弾性値 以上		短期M	向き	3	最安値/高値 以上	貸借倍率 XX過前			
長期弾性値 以下	1	中期M	向き	3	最安値/高値 以下	貸借倍率 以上			
MAV指標 以上		生長弾	向き		長コスト/前日安値 以上	貸借倍率 以下			
MAV指標 以下		生中弾	向き		長コスト/前日安値 以下	最安値周期◎			
短期M指標 以上	0	生長弾	向き		長コスト/前日高値 以上	安値/最安値 以上			
短期M指標 以下		短コスト	向き	3	長コスト/前日高値 以下	安値/最安値 以下			
中期M指標 以上		長コスト	向き	3	生短弾/短弾 位置	日柄 以上			
中期M指標 以下	1	短/長コスト 位置		4	終値/高値 以上	日柄 以下			
生短弾性値 以上		短コスト上・下扱ナ			終値/高値 以下	最高値周期◎			
生短弾性値 以下		長コスト上・下扱ナ			終値/安値 以上	高値/最高値 以上			
生中弾性値 以上		短長DO後日柄 以上			終値/安値 以下	高値/最高値 以下			
生中弾性値 以下		短長DO後日柄 以下			新値 向き	日柄 以上			
生長弾性値 以上		短長GO後日柄 以上			安値更新本数 以上	日柄 以下			
生長弾性値 以下		短長GO後日柄 以下			安値更新本数 以下	騰落レシオ 向き			
最安値 向き		短弾/中弾 位置			高値更新本数 以上	以上			
最安値比率 以上		中弾/長弾 位置			高値更新本数 以下	以下			
最安値比率 以下		短弾/長弾 位置	5		足取り・5本設定	向き			
最安値日柄 以上		陽線・陰線?			ハイ・ローバンド 向き	前日 以上			
最安値日柄 以下		高値切り上・下がり			ハイ・ローバンド 向き	前日 以下			
最高値 向き		安値切り上・下がり			短中M間カイリ 以下	50V加重移動平 向き			
最高値比率 以上		RJ指数 以上			出来高水準 向き	短/50 位置			
最高値比率 以下		RJ指数 以下	20		出来高水準 以上	長/50 位置			
最高値日柄 以上		RJ指数 向き	3		短中M間カイリ 以上	連続安値更新本数以上			
最高値日柄 以下		最高値/最安値 向き			MACD◎(4-20) 向き	連続安値更新本数以下			
出来高倍率 向き		最高値/最安値 以上			MACD◎(5-20) 向き	連続高値更新本数以上			
出来高倍率 以上		最高値/最安値 以下			短M/中M 位置	連続高値更新本数以下			
出来高倍率 以下		最安値/最高値 向き			生中弾/中弾 位置	陽線・陰線			
最大出来高 向き		最安値/最高値 以上			生長弾/長弾 位置	50コスト上・下扱ナ			
最大出来高か?		最安値/最高値 以下			出来高比率 以上	JPシート番号			

ここまで、入力出来たら、先の解説のように、保存して、チェックしてみましょう。

下記のようになります。





点灯箇所が一気に消えてしまいました。

その代わりに、全ての点灯ポイントにおいてそれ以降上昇しており、底値を完璧に捉えたシートが出来たといえます。

いいポイントだけにサインを点灯したい・・・。と思ってもなかなか完璧にそれを作成する事出来ません。

サイン作成は、モグラたたきの的のところがあります。

こちらをつぶせば、あちらが顔を出す・・・。

数値を細かく設定していけば、それなりのシートが出来るかもしれませんが、その代わり将来点灯する事がない。という事になりかねません。

条件をきつくしていく場合は、他のよい点灯ポイントを多少なりとも捨て、ダメなポイントを消していく。という作成スタンスがいいと思われます。

ただ、今回の基準日は8/8です。

きつくしていった方がいいが、肝心の8/8が消えてしまつては、元も子もありませんのでサインが消えないよう注意しながら作成していきましょう。

今回作成したきつくする前の 900 番シートは、420 番シートとして追加しておくことにします。

これで、日経平均の買いサインシートは 400 から 420 番となります。

900 番を 420 番へ保存する方法は、先の「保存」を使います。

## ■シート番号を変更して保存する

「保存」をクリックします。

JP法分析シート 日足用 900番

コメント 日経平均 買いサイン-20- 基準日:2014/08/08

短期弾性値 以上	出来高倍率 以下	最高値・最高値 以上	出来高水準 周期
短期弾性値 以下	最大出来高 周期	最高値/最高値 以上	出来高水準 以上
中期弾性値 以上	最大出来高か?	最高値/最高値 以下	短中M間カイリ 以上
中期弾性値 以下	短弾 向き	最高値/最高値 周期	MACD①(4-20) 向き
長期弾性値 以上	中弾 向き	最高値/最高値 以上	MACD②(5-20) 向き
長期弾性値 以下	長弾 向き	最高値/最高値 以下	短M/中M 位置
MAV指標 以上	MAV 向き	最高値/周期	生中弾/中弾 位置
MAV指標 以下	短期M 向き	最高値/安値 以上	生中弾/長弾 位置
短期M指標 以上	中期M 向き	最高値/安値 以下	生中弾/長弾 位置
短期M指標 以下	生短弾 向き	最高値/周期	株価水準 以上
中期M指標 以上	生中弾 向き	最高値/高値 以上	株価水準 以下
中期M指標 以下	生中弾 向き	最高値/高値 以下	
生短弾性値 以上	短コスト 向き	長コスト/前日安値 以上	
生短弾性値 以下	長コスト 向き	長コスト/前日安値 以下	
生中弾性値 以上	短/長コスト 位置	長コスト/前日高値 以上	
生中弾性値 以下	短コスト上・下抜け	長コスト/前日高値 以下	
生中弾性値 以上	長コスト上・下抜け	生短弾/短弾 位置	
生中弾性値 以下	短長DC後日柄 以上	終値/高値 以上	
最安値 周期	短長DC後日柄 以下	終値/高値 以下	
最安値比率 以上	短長GC後日柄 以上	終値/安値 以上	
最安値比率 以下	短長GC後日柄 以下	終値/安値 以下	
最安値日柄 以上	短弾/中弾 位置	新値 周期	
最安値日柄 以下	中弾/長弾 位置	安値更新本数 以上	
最高値 周期	短弾/長弾 位置	安値更新本数 以下	
最高値比率 以上	陽線・陰線?	高値更新本数 以上	
最高値比率 以下	高値切り上・下がり	高値更新本数 以下	
最高値日柄 以上	安値切り上・下がり	足取り・5本設定	
最高値日柄 以下	RJ指数 以上	ハイ・ローバンド 周期	
出来高倍率 周期	RJ指数 以下	ハイ・ローバンド 向き	
出来高倍率 以上	RJ指数 向き	短中M間カイリ 以下	

## ※ここがポイント

「420」と入力して「OK」をクリックします。

JP法分析シート保存確認画面

現在表示しているシート条件を保存します。1 から 1000 までのシート番号を入力してください。

420

OK

キャンセル

以上の手順で、420 番へ 900 番の内容が上書きされました。